

高野山開創1200年大法会期間中の 輸送実績（速報値）について

高野山駅の降車人数は昨年の2.5倍！ 山内バスの1日フリー券は昨年の3.5倍！

南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市浪速区、社長：亘 信二）では、高野山開創1200年記念大法会にあわせて「特急こうや 高野山開創1200年特別仕様」（平成28年2月まで運行予定）の運行や電車・ケーブルカーの増発などの、様々な取り組みを実施してきました。また、グループの南海りんかんバス（本社：和歌山県橋本市、社長：坂部直成）では、高野山駅と山内各所を結ぶ路線バスを増発して、お客さまの輸送を担いました。

そしてこのたび、大法会の期間である4月2日（木）から5月21日（木）までの50日間の輸送実績（速報値）がまとまりましたので、以下にお知らせいたします。

1. 鉄道の輸送実績（高野山駅の降車人数）

高野山駅の降車人数は、期間中合計131,324人で、前年（52,299人）に比べ**251.1%**となりました。

また、期間中の特急等利用は、「こうや」が前年比**178.1%**、「天空」が**205.1%**でした。

なお、期間中の高野山来訪者数は約60万人（金剛峯寺発表、当初予測30万人）で、うち鉄道をご利用のお客さまは21.9%でした。

<ご参考>

高野山駅の降車人数が最も多かった日は5月3日（日・祝）の7,542人で、2番目は5月5日（火・祝）の7,163人、3番目は5月17日（日）の5,754人でした。

なお、前年のピークは5月4日（日）の3,601人です。

2. 南海りんかんバスの輸送実績（高野山内バス1日フリー乗車券の発売枚数）

世界遺産・高野山1日フリー乗車券の発売枚数は、期間中合計21,428枚で、前年（6,101枚）に比べ、**351.2%**となりました。

また、法会期間中に発売した高野山内パーク&ライド1日フリー乗車券は、9,072枚でした。

※高野山内パーク&ライド1日フリー乗車券

法会期間中限定で、渋滞緩和のために販売しました。自家用車を大門南駐車場などにお停めのお客さまに、山内移動にご利用いただきました。

3. 結果のまとめと今後の取り組み

鉄道・バスの輸送人員は4月下旬から次第に増加しはじめ、5月3日（日・祝）と5日（火・祝）をピークとして、晴れの日や土日、ゴールデンウィーク期間中に、多くご利用いただきました。その結果、鉄道は前年比2.5倍のご利用、バスの1日フリー乗車券は3.5倍のご利用をいただきました。

しかしながら、大法会期間中、祝休日や日曜日を中心に非常に多くのお客さまにお越しいただきましたが、一部の時間帯で列車、ケーブルカーや山内路線バスがたいへん混雑し、また5月9日（土）に難波駅付近で不発弾の処理があり一部列車が運休となったことで、多くの方にご不便をおかけいたしましたことを、改めてお詫び申し上げます。

記念大法会は終了いたしました。金剛峯寺では11月末日までを「開創イヤー」と定め、秘仏の公開も予定されています。そのため当社では、四季を通じてこれからも多くの方に高野山にお越しいただきたいと思っております。高野山をさらに広く認識していただき、多くのお客さまにお越しいただけるよう、今後も引き続き、話題性のあるイベント・事業のプロモーションを推進してまいります。

<ご参考>2015年開創イヤーにおける高野山の主要な事業

時 期	金剛峯寺の事業
(3月21日) ～ 7月5日(日)	高野山霊宝館 高野山開創1200年記念展 「初公開！高野山の御神宝」
8月13日(木)	ろうそく祭り (萬燈供養会) <small>まんどうくようえ</small>
8月28日(金) ～ 30日(日)	国宝「不動堂」内部の特別公開
10月1日(木) ～ 11月1日(日)	「金堂」ご本尊、「金剛峯寺」ご本尊 特別公開 ※10/1～10/3、金堂は結縁灌頂入壇者のみ拝観いただけます。
10月17日(土) ～ 11月15日(日)	金剛峯寺「蟠龍庭」の夜間ライトアップ <small>ばんりゅうてい</small> (10/17・18・24・25・31、11/1・2・3・7・8・14・15)
10月31日(土) ～ 11月8日(日)	重要文化財「徳川家霊台」内部の特別公開

以 上